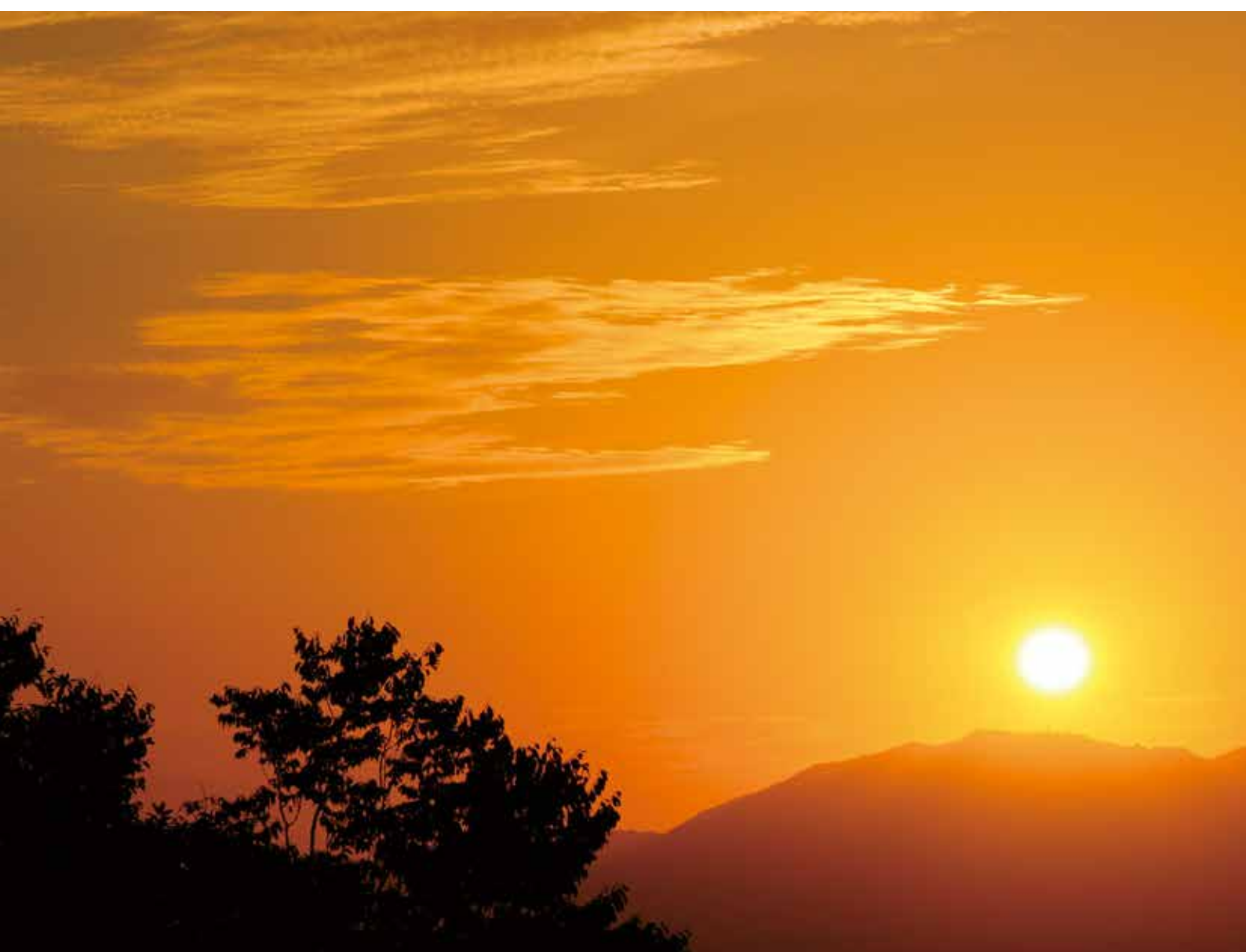




# 田上町 議会だより

第103号

■平成26年10月24日 発行



▲護摩堂山から望む夕日

---

9月定例会・決算額 .....	P2~3
決算審査特別委員会・付託案件審査報告・請願・陳情 .....	P4~9
一般質問(4議員) .....	P10~13
所管事務調査報告・一部事務組合等の報告 .....	P14~17
田上町の元気人／編集後記 .....	P18

---



田上町の「今」と「これから」をお伝えします

# 町長の給与減額決定(20%削減3カ月間) 湯っ多里館は1月1日より 利用料金の値上げが決定



▲「町長の給与の特例に関する条例の制定」起立採決

## 今議会に 提案された議案

### 【人事案件】

- ・ 固定資産評価審査委員会委員の選任 早津 紳也 氏
- ・ 選挙管理委員会委員及び補充員の選挙  
委員 坂上 俊雄 氏  
鶴巻 洋子 氏  
田代 登 氏  
高橋 正一 氏

### 補充員

- 佐藤 芳英 氏
- 山本 文一郎 氏
- 小林 強 氏
- 吉田 勲 氏

### 【専決処分】

- ・ 26年度補正予算（災害復旧費）

### 【条例制定】

- ・ 田上町長の給与の特例に関する条例の制定

### 【条例改正】

- ・ 田上町税条例の一部改正
- ・ 田上町国民健康保険税条例の一部改正

- ・ 田上ごまどう温泉関連施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

### 【26年度補正予算】

#### 一般会計

- ・ 歳入(地方交付税・繰入金)
- ・ 歳出(総務費・民生費・衛生費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・教育費)
- ・ 債務負担行為
- ・ 地方債

#### 介護保険特別会計

- ・ 歳入(国庫支出金・支払基金交付金)
- ・ 歳出(諸支出金)

### 【25年度決算】

- ・ 一般会計
- ・ 下水道事業特別会計
- ・ 集落排水事業特別会計
- ・ 国民健康保険特別会計
- ・ 後期高齢者医療特別会計
- ・ 訪問看護事業特別会計
- ・ 介護保険特別会計
- ・ 水道事業特別会計

## 平成25年度田上町一般会計歳入歳出決算額

**歳入 49億2,745万5千円 — 歳出 47億9,201万2千円 = 差引金額 1億3,544万3千円**

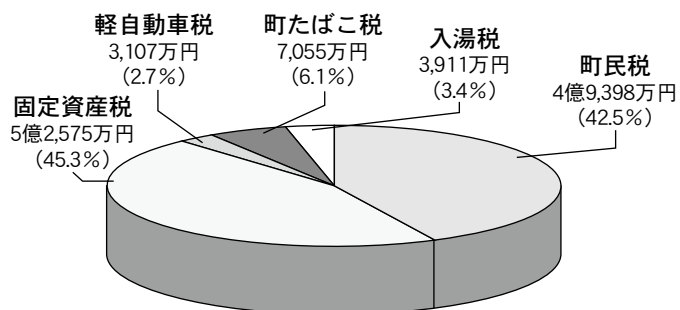
町民一人あたりの金額は、平成26年3月31日の人口12,542人で計算しています。



歳入				
科 目	決算額 (単位：千円)	前年度決算 との比較 (単位：千円)	町民一人 当たり (単位：円)	
1 町 税	1,160,479	9,468	92,527	
2 地 方 譲 与 税	73,080	△3,786	5,827	
3 利 子 割 交 付 金	2,721	△687	217	
4 配 当 割 交 付 金	4,162	2,130	332	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	6,430	5,935	513	
6 地 方 消 費 税 交 付 金	98,598	△848	7,861	
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	20,643	1,405	1,646	
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	20,002	△1,119	1,595	
9 地 方 特 例 交 付 金	3,831	△318	305	
10 地 方 交 付 税	1,693,715	9,104	135,043	
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,580	△122	126	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	69,716	△9,817	5,559	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	80,615	△1,285	6,428	
14 国 庫 支 出 金	607,904	324,054	48,469	
15 県 支 出 金	232,636	△27,178	18,549	
16 財 産 収 入	2,284	△12,133	182	
17 寄 附 金	900	15	72	
18 繰 入 金	9,423	△1,487	751	
19 繰 越 金	119,917	△15,653	9,561	
20 諸 収 入	333,658	99,191	26,603	
21 町 債	385,161	73,827	30,710	
<b>歳入合計</b>	<b>4,927,455</b>	<b>450,696</b>	<b>392,876</b>	

歳出				
科 目	決算額 (単位：千円)	前年度決算 との比較 (単位：千円)	町民一人 当たり (単位：円)	
1 議 会 費	79,897	△1,623	6,370	
2 総 務 費	502,592	△92,958	40,073	
3 民 生 費	1,253,089	25,342	99,911	
4 衛 生 費	354,730	2,422	28,283	
5 労 働 費	17,435	1,167	1,390	
6 農 林 水 産 業 費	221,304	21,296	17,645	
7 商 工 費	331,784	5,871	26,454	
8 土 木 費	826,930	401,519	65,933	
9 消 防 費	189,420	△15,819	15,103	
10 教 育 費	478,934	60,474	38,186	
11 公 債 費	527,393	18,975	42,050	
12 災 害 復 旧 費	8,504	8,504	678	
<b>歳出合計</b>	<b>4,792,012</b>	<b>435,170</b>	<b>382,077</b>	

### 町税の内訳



## 平成25年度田上町特別会計歳入歳出決算額



単位：千円

区 分	歳 入	歳 出	差引額
下 水 道 事 業	408,439	403,575	4,864
集 落 排 水 事 業	76,521	73,589	2,932
国 民 健 康 保 険	1,392,280	1,359,111	33,169
後 期 高 齢 者 医 療	106,048	103,691	2,357
訪 問 看 護 事 業	42,019	36,563	5,456
介 護 保 険	1,105,133	1,074,727	30,406

区 分	歳 入	歳 出	差引額
水 道 事 業 会 計	収益の収入	収益の支出	
	257,266	228,590	28,676
	資本的収入	資本的支出	
	176,790	345,106	△168,316

# 決算審査特別委員会



▲椿委員長

▲有川副委員長

平成25年度決算は、竹の友幼稚園の未満児棟増築工事、あじさいトンネル（五明寺トンネル）の改修工事、役場庁舎の空調設備入替工事、町道後藤・南1号線舗装道路の補修工事等が行われ、24年度と比較すると歳入で4億5千万円（約10%）の増、歳出では4億3千万円（約10%）の増でした。歳入の増は、国庫支出金の社会資本整備総合交付金で約3億円、地方の元金臨時交付金約1億4千万円でした。

本委員会は、9月8日の本会議で設置され、平成25年度一般会計、各特別会計7件の8議案が付託され、9月16日から9月18日の3日間、適正に予算が執行されているか、期待した行政効果が得られているか、さらには、今後改善を要する点は何かなどに主眼をおき、慎重に審査を行いました。

審査の結果は、全件とも原案とおり認定されました。審査の過程で質問が、68件、町長への総括質疑が2件ありました。歳入の質疑では、「ふるさと納税」で今後の考えについて質問がありました。

質問が集中したのは観光と農業、少子化問題や竹の友幼稚園、子育て支援でした。

最終日の町長総括質疑では、今後の町政運営に活かしていくとの決意がありました。

委員長 椿 一春

## 町長への総括質疑

質疑件数2件

**問** 米農家については担い手、農地集積などの様々な施策が打たれているが、酪農・養鶏は縮小傾向です。養豚は2軒で後継者もいません。プレミアム商品券の関係で良質の食肉であると知りました。これからの畜産業の支援施策はありますか。また、直売所で野菜だけ売るのはなく、豚の加工品なども考えてはどうですか。また、林業も林道維持に終始しています。独自の山林活用の振興策は描けませんか。

**答** 40年ほど前の田上町は各家庭に豚を飼っていました。現在は川船地区で乳牛を飼っている農家は1軒になりました。これまでの畜産業への支援策は牛ブルセラ病、ヨ―ネ病検査助成で支援策は少なく、また田上ポークはブランド化しつつあるので、後押しをしなければいけないと思っています。また、林業については一部の林道を除き大変狭く、木を伐採し運びだせる状態にはありませんが、ペレット化業は今後の課題とします。



**問** 2つの民間企業のメタバ対策・健康づくりの広告宣伝が新聞に掲載されました。人気のあった保健福祉課と

公民館の協働事業「メタバ対策トレーニング教室」が25年度は実施されませんでした。今後それぞれの強みを活かして、保健福祉課と教育委員会のスポーツによる健康づくり協働事業を行なっていきますか。

**答** 「メタバ対策トレーニング教室」は国保連合会の補助事業として22、24年の3年間行いました。25年は「スッキリ運動教室」の名前に変わり、生活習慣病予防として40歳以上を対象として運動及び食事指導を6回行い77名の参加がありました。若年層には別のプログラムを考えていきます。



## 決算委員会の 主な質疑

**問** 財政指数についての評価は。

**答** 光熱費の値上げなど経常経費がかさんでいます。交付税が増えたことにより経常収支比率が前年より悪く、支出が増えるので切りつめて財政運営していきます。

**問** ふるさと納税をどのように考えるのか。

**答** 板橋区など交流のあるところにもっとPRしていきまます。納税者へのプレゼントも内容を見直し、魅力あるものとしていきます。

**問** ハザードマップがホームページに掲載がないのはおかしい。広報戦略はどうなっているのか。

**答** ハザードマップは近々アップする予定。広報についてはガイドラインを作成します。

**問** 新しい公共交通については検討したのか。

**答** 県央地区に勉強会が立ちあがったばかりです。町に導

入すると経費がかさむが、いずれは道筋をつけなければならなりません。

**問** プレミアム商品券は概ね成功だったのではないかと。

**答** 独自サービスを付加した店舗が7店と少なく、補助金が出ていた間だけ頑張るのではなく、通年消費拡大と顧客喚起できるようにしていきます。

**問** 山田川の改修工事は25年度になぜ終了しなかったのか。

**答** 地盤の土が固く、工事するスペースが狭いなどの理由で遅れているが、26年12月末までに終了予定です。

**問** あじさいトンネルは完成したが、町民の評価はどうか。

**答** 以前のトンネルに比べて立派になったが、道は狭く感じます。対面通行になった時に危ないので、対向車接近中のシグナル設置など検討中です。

**問** 耐震診断補助はここ数年、1件の申請しかない。

**答** 27年度で終了する事業です。昭和56年以前の建物が対

象であり、なかなか改修まで進まないのが現状です。

**問** 認定子ども園への移行はどうなっているのか。

**答** 保育士に5年間の移行措置の間に保育教諭の資格を新たに取得してもらうことになっているので、来年の移行は難しいが近い将来移行するでしょう。

**問** 教員住宅の利用実績が少ないなら、町民に貸し出してはどうか。

**答** 利用は田上小1件、羽生田小1件ですが、利用者がいる間の活用は考えていませ

**問** 不登校の実態は

**答** 田上小2名、羽生田小2名、田上中7名です。様々な対策をとっているが、なかなか減らない状況です。



# 総務産経常任委員会付託案件審査

## 26年度一般会計補正 予算（第2号）

## 田上町長の給与の特例 に関する条例の制定

7月8～9日にかけての豪雨に対しての経費を災害復旧費として、専決処分したもので、総額834万円で、歳入は繰越金を全額充て、歳出では道路関係で26カ所、河川・水路関係で5カ所の復旧経費や資材、重機の借上、上野地区での小規模崩壊防止工事補助金、YOU・遊ランドでの落雷による自動火災報知機の修繕等の補正です。

町長が起こした交通事故の責任に対して、給与を10月から12月までの3カ月間、20%（月額13万8千円）減額する条例です。



Check

### 議論の 中身

Q YOU・遊ランドの落雷は保険適用がないのか。  
A 全額保険適用となる見込みだが、保険金が確定していないので、確定したら改めて歳入に計上するとの答弁がありました。



Check

### 議論の 中身

Q 給与を3カ月間20%減額する根拠はなにか、期末手当に影響しないようにしたのは何故か。  
A 一時的な減額であって通常であれば反映しないのが一般的です。政治的、道義的責任としての減額であり、県町村会に確認しましたが前例がありませんでした。6月の県知事の20%1カ月の減額、他市長の交通事故の例等だけでした。職員に当てはめれば10%、1カ月の減額か文書による処分ですが、町長は職員とは違う事などを考慮しました。

Q 業務でのイレギュラー対応はどうだったのか。  
A マスコミ対応等はあったが、業務にそれほど支障はありませんでした。

**討論** 期末手当に反映されていないことに批判もあり反対するという意見と、前例のない事故でそういう意味では反対だが、騒ぎすぎでかわいそう、いじめのようではないか加減幕引きをすべきで、賛成するとの意見があり、賛成多数で原案可決されました。



▲「町長の給与の特例に関する条例の制定」起立採決

### ■主な議案内容

- ・町長の給与減額
- ・湯っ多里館料金値上げ、リニューアル予算決まる

田上ごまどう温泉関連施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

来年1月より指定管理者による管理となるため関係する条文の改正、入館料をそれぞれ100円値上げすること等が主なものです。

Check 議論の申し

Q 入館料値上げの理由はなにか、値上げによって入館者が減るのではないか、他施設との比較ではどうか。

A 灯油など光熱水費の値上がり大きいことや、指定管理者の応募で出された事業計画でも値上げが条件となっています。近隣の類似施設との比較では900円、1000円等もあるので、それほど大幅なものではないと考えています。

26年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出にそれぞれ1億2122万2千円を追加するもので、歳入の主なものは地方交付税の4416万2千円、湯つ多里館のリニューアルにもなう経費に充てる観光施設整備基金からの繰入4100万円、介護保険特別会計への繰入577万3千円の増額、26年度に予定した本田上・才歩線の工事費や本田上・横場線歩道整備設計委託等が、国の25年度補正で認められたことに伴う交付金420万円や起債490万円の減額でした。

歳出の主なものでは、総務費で社会保障・税番号制度システム整備委託料98万1千円、下吉田公民館の補修で12万8千円、労働費では21年度〜23年度に実施した「かぐやの里」事業での、県補助金の返還金387万1千円、農林水産業費では林道護摩堂線の橋梁点検業務委託70万円、商工費では湯つ多里館関係での温泉の浚渫960万2千円、改修工事で7298万3

千円、土木費では25年度補正で認められた本田上・才歩線側溝改良工事443万9千円、本田上・横場線歩道設計委託、213万9千円の減額等が主なものでした。



▲11月4日～12月31日まで臨時休館(予定)  
1月1日リニューアルオープン(予定)

Check 議論の申し

Q 温泉の浚渫は3年ほど前にも行っている補償問題ではないのか。

A 東日本大震災以降、湧出量やスケールの付着等、以前より井戸に変化が出ています。改修工事は11月からで、12月末までに完了する予定です。

【討論】 全会一致で原案可決でしたが、湯つ多里館の改修工事等に関連して、今後の職員採用に当たっては、もっと業務に専門性をもった職員採用を検討するべきとの意見がありました。

いずれも原案承認、可決されました。

委員長 熊倉 正治



▲総務産経常任委員会

# 社会文教常任委員会付託案件審査

## ■主な議案内容

- ・地方税法の改正に伴い、平成27年4月1日から軽自動車税が改定になる
- ・10月1日から2つのワクチンが定期予防接種に追加される

### 田上町税条例の一部改正

地方税法改正に伴い軽自動車税が改正になります。この改正は、昭和59年以來の改正です。

改正の主なものは、原動機付自転車で総排気量が90cc以下まで年額2千円に、総排気量90ccを超えるものは2400円に、4輪以上の軽自動車に乗用するのは営業用6900円、自家用1万8000円です。

貨物のもので営業用は3800円、自家用は5千円に改定されるものであり、平成27年4月1日から施行されます。

### 田上町国民健康保険税条例の一部改正

この税条例改正も、地方税法の改正に伴うもので、内容は上場株式等に係る譲渡所得に係る国民健康保険税の課税の特例等です。

### 26年度一般会計補正予算(第3号)

補正の主な内容は、民生費の児童福祉事業で、竹の友幼稚園の臨時職員6人分の職員手当です。

衛生費では、10月1日から2つのワクチンが定期予防接種に追加されます。1つは、水ぼうそう予防接種です。(無料)

対象年齢は、1歳以上3歳未満で3カ月以上の間隔を置いて2回接種します。もう1つは、高齢者の肺炎球菌感染症予防接種です。この予防接種の費用は町が一部を助成しますが、自己負担額が4640円です。対象年齢は、27年4月1日までに65歳、70歳、75歳から100歳まで5歳刻みの年齢の方及び101歳以上の方です。

### 26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

平成25年度の保険給付費(繰出金)の補正です。



### 議論の中心

Q 民生費の児童福祉総務事業で、竹の友幼稚園の保育士補助員に大学生のアルバイト希望があれば、雇用したらどうか。

A 夕方4時から6時の間は人的に手薄となる。大学との連携で中央短大と協議会を開いた。前向きに検討することになっています。

Q 予防接種はどのように行われるか。

A 水ぼうそうは無料接種、肺炎球菌は高齢者のインフルエンザと同じかたちで行われます。

いずれも全会一致で原案可決しました。

委員長 川崎 昭夫



◀▲社会文教常任委員会



## 請 願

請願番号	件 名	請願者の住所・氏名	紹介議員	審査結果	意見書等提出先
請 願 第 5 号	「学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願	新潟市中央区弁天橋通1丁目13番13号 私学会館内 新潟県私学の公費助成をすすめる会 会長 中村 直美	川口與志郎	採 択	内閣総務大臣 文部科学大臣 財務大臣 総務大臣 議院議長
請 願 第 6 号	政府による緊急の過剰米処理を求める請願	新潟市北区葛塚3346 農民運動新潟県連合会 鶴巻 純一	椿 一 春 川口與志郎	趣旨採択	_____
請 願 第 7 号	所得税法第56条廃止の意見書を国に上げることに関する請願	三条市興野2丁目16-29 三条民主商工会 婦人部 部長 飛田野 真紀子	川口與志郎	継続審査	_____

## 陳 情

番 号	件 名	陳 情 者
陳 情 第 3 号	軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	大阪府東大阪市六万寺町3-12-33 軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子



▲請願第6号起立採決

### 【全員協議会】

期日 平成26年9月9日

（仮称）生涯学習センター  
建設に関する基本構想  
が示される

26年4月に立ち上がった生涯学習センター基本構想検討委員会がこれまで4回開催され、どんな補助金があるのか、財政シミュレーションや既存施設の有効活用などを検討し、視察した「道の駅」の報告などを受けました。

現段階で検討委員会の方向性としては、役場前の生涯学習センター建設予定地に、にぎわいと交流の拠点（動の空間）として（仮称）地域交流会館「道の駅」を建設し、生涯学習センターは（静の空間）として原ヶ崎交流センター（旧竹の幼稚園）を活用し、不足する機能を追加整備していきたいとの報告がありました。また、この案はあくまでも方向性を示したにすぎず、専門家に基本計画の作成を委託するための予算を12

月議会に提案したいとの説明がありました。

### Check 議論の中心

- ・ そもそも、文化活動の発表の場が必要なのは、という事が原点ではないのか。
- ・ 老朽化している原ヶ崎交流センターにお金をかけて建物の耐久性が問題だ。
- ・ 都市化計画マスタープランでコンパクトシティ構想を打ち出しておいて、動の空間と静の空間のすみわけを行なうのは理念が一貫していないのではないか。

などの質問が出ましたが、今回はまず方向性を提示したので、12月議会まであと1〜2回、議会と協議する場を設けたいとの答弁がありました。



浅野 一志 議員

ここが聞きたい

# 一般質問

## 新田掘改良工事の効果はあったのか

町長：想定外の冠水であり、引き続き検討する

**町長** 当該工事は、平成25年度に計画の一部を施行し、現在に至っているが、新田堀流域の排水区域面積は7.6haに設定し、最近の降雨状況を踏まえ1時間61・7mmの雨量強度を想定して工事を行いました。今回の雨量は役場観測所で午前6時から9時までに71mmの降雨を記録し、最大で6時50分から7時20分までの30分

**問** 平成25年度に、河川改良工事業として、新田堀の工事が行われ、今年の3月に終了していますが、それ以降も新田堀沿いの「上吉田中3号線」は冠水することがあります。7月8日から9日の豪雨では、7時20分から17時15分まで通行止めになっていました。これは想定内でしょうか、町長の見解を尋ねます。

まだ無くならない冠水



▲冠水した新田掘

間で27mmの雷を伴った雨を記録しました。1時間雨量では54mmと設定雨量以下でしたが、放流先の農業排水路では6台のポンプがフル稼働し、隣接する大正川排水区との関連もあり、冠水した水が排水されない状況でした。総雨量が比較的少なかったにもかかわらず、冠水するなど想定外でした。この冠水した道路付近の改良も引き続き検討しますが、403号線バイパス下の排水路が改修できないというところも問題です。

**町長** 町内に防犯灯約1800灯設置していますが、昨年は各地区とPTAから合わせて60灯、60カ所の設置要望をいただきましたが、予算の関係で、毎年15カ所程度設置しています。来年度は

**問** 最近、女性や女子児童・生徒に対する犯罪が数多く報道されています。このような犯罪や、事故を防止するには、公園として通学路に防犯灯は不可欠ではないでしょうか。地区や学校、PTA等から防犯灯設置の要望は上がっていませんか。要望に応じられない件数はどのくらいありますか。坂田・上吉田地区から要望をあげたと聞いていますが、他にはどのくらいありますか。それらの要望には、早急に対応するべきと思いますが、町長の考えはいかがでしょうか。

公園や通学路に防犯灯の設置を



▲地域を守る防犯灯

防犯灯のLED化を検討していますので、平成26年度は新規の設置を休止しています。これらの事情につきましては、関係するPTAあるいは区長の皆さんにもご理解をいただいていますので、今後はLED化に切りかえる時期に検討していきたいと思っております。



川口 與志郎 議員

## 赤ちゃん誕生の時点で保育料軽減を

町長：財政状況をみながら検討する

人口減対策が今焦点に

**問** 町の人口減対策をどうするのか、大きな焦点となってきています。

「幸せがあれば、そこに人間が集まってきます。」つまり人口減対策のポイントは幸せづくりです。町長は、町は幸せのあるいい町だと思っておりますか。町には、今でも沢山の幸せが存在しています。その再確認と新たな幸せづくりをしていくことが、人口減対策です。

そこで、新たな幸せづくりの一つとして、子育て支援のお願いをします。現在、兄弟姉妹が在園している場合第2子は半額、第3子以降は無料です。兄弟姉妹が在園していて、第2子が誕生した時点で、その料金を半額にすることは出来ないでしょうか。

次に子どもの医療費のこと

ですが、現在、全ての子どもの中学卒業までの入院と通院の医療費が助成されています。加えて高校卒業までの医療費助成をしていただけませんか。人口減の事態が深刻になる前の、今の時期が重要ではないかと思いがたがどうか。

**町長** 私も、町は幸せのあるいい町だと思っています。よい良い町にしていきたいと思っています。

少子化対策としての保育料を軽減することは、少子化対策の有効な手段の一つであることから検討していきます。町の経費負担は約700万円になりますので財政状況を見ながら検討します。

次に高校卒業までの医療費の助成についてですが、子育て支援の一環として、高校卒業までの医療費を助成の対象にすることを前向きに検討していきます。

生産者米価の大幅な下落はコメ農家に大打撃

**問** 今、全国的なコメの価格の大暴落が強く懸念されています。大変な状況です。コメ農家は大打撃を受けます。町長はこの状況についてどのような見解を持っていますか。何か出来ることはありますか。

**町長** コメ農家の今の状況を大変危惧しています。町で出来ることは新規需要米、いわゆるコメ粉用米・飼料用米の拡大を図ること、それから大豆等の補助金の活用が出来る転作作物を増やし余分な過剰米を出さないことが大事だと思っています。



▲田上のこしひかり







池井 豊 議員

## 大雨・土石流、深夜の災害対応は

町長：雨が降っていない段階から第一配備態勢を築きます

豪雨対応につきましましては、県の防災当局のファクスや気象庁のレーダー、そして国土交通省の局部的な雨量状況をはかるXバンドレーダーなど

町長 避難勧告等の発令は、マニュアルに基づいて各地区の区長への電話、ホームページ、携帯電話への緊急速報メール、町の登録メール、消防ポンプ置き場のサイレン塔の吹鳴、または広報車などの手段により適切に伝達します。

町長 町民向けの防災マニュアルは作成していません。広報紙、パンフレット、ハザードマップなどの配布、町民説明会を通して防災意識

町長 町民向けの防災マニュアルは作成していません。広報紙、パンフレット、ハザードマップなどの配布、町民説明会を通して防災意識

### 防災教育について

町長 町民向けの防災マニュアルは作成していません。広報紙、パンフレット、ハザードマップなどの配布、町民説明会を通して防災意識



▲静岡県地震防災センター視察

町長 町民向けの防災マニュアルは作成していません。広報紙、パンフレット、ハザードマップなどの配布、町民説明会を通して防災意識

ここが聞きたい

# 一般質問



今井 幸代 議員

## 3世帯同居・近居推進政策を検討せよ

町長：他自治体事例などを研究し、すすめていく

### 地域コミュニティの強化を

町長 3世代同居、近居の多い地域は出生率も高く、人の繋がりが強く、地域環境がよい傾向があります。県内でも新潟市はじめ幾つかの市町村では既に条例も作っています。3世代同居や親元近居を維持することは非常に有効なことだと思っています。家族形態を導いていくた

町長 3世代同居、近居の多い地域は出生率も高く、人の繋がりが強く、地域環境がよい傾向があります。県内でも新潟市はじめ幾つかの市町村では既に条例も作っています。3世代同居や親元近居を維持することは非常に有効なことだと思っています。家族形態を導いていくた



▲祖父母と楽しむ七夕

町長 町の活性化、コミュニティの活性化に向けて、研究をしていき、実施すべき少子化、定住対策を検討し、できることから展開していきます。

町長 町の活性化、コミュニティの活性化に向けて、研究をしていき、実施すべき少子化、定住対策を検討し、できることから展開していきます。

町長 町の活性化、コミュニティの活性化に向けて、研究をしていき、実施すべき少子化、定住対策を検討し、できることから展開していきます。

### 自助・共助推進 条例の制定と人間の心理特性を踏まえた 情報発信を

町長 自助・共助推進 条例の制定と人間の心理特性を踏まえた 情報発信を

町長 自助・共助推進 条例の制定と人間の心理特性を踏まえた 情報発信を



▲防災計画とハザードマップ

町長 自助・共助推進 条例の制定と人間の心理特性を踏まえた 情報発信を

### 田上町総合防災訓練について

町長 自助・共助推進 条例の制定と人間の心理特性を踏まえた 情報発信を

町長 自助・共助推進 条例の制定と人間の心理特性を踏まえた 情報発信を

# 総務産経常任委員会 所管事務調査

産業振興課における農地中間管理機構について、総務課における26年度少子化・定住促進対策について調査を行った。その他の項目では、地域整備課における7月8～9日の豪雨対応状況、総務課における土砂災害に関する町の対応について説明がありました。

## 農地中間管理機構とは

農地中間管理推進法（農地中間管理事業の推進に関する法律）と基盤法（農業の構造改革を推進するための農業経営基盤強化促進法）等の一部が昨年12月に公布され、昭和45年農地法改正で創設された農地保有合理化事業は新たな制度に生まれ変わった。

農地の有効利用の継続、経営の効率化を進める担い手への農地の集積・集約をすすめるため、農地中間管理事業を衡平かつ適正に行うことができる法人を知事が指定し、都

道府県に1つ設置され、新潟県では、県農林公社が指定されている。

農地保有合理化事業の中核である農地売買等事業のうち、農用地等を借り入れて担い手に貸し付ける事業は、新たに制定された法律により「農地中間管理事業」として、また農地を買入れ、（一時貸付けした後）に売り渡す事業は、基盤法に位置付けられた「特例事業」として実施される。

この事業による農地の出し手に対する支援で、国における予算は253億円、県においては11億円とのことで、地域に対する支援（地域集積協力金）の交付単価は面積により2万～3.6万/10a、経営転換・リタイアする場合の支援（経営転換協力金）の交付単価は面積により30万～70万/10a、農地の集積・集約化に協力する場合の支援（耕作者集積協力金）の交付単価は2万/10a等の制度となっている。

町における取り組み状況では、県農林公社との委託契約

では5月に知事承認を受け、15項目の内容の内（相談窓口、借受希望者の応募とりまとめ、所有者からの申し出受付等）町では10項目、JAでは9項目の事業を行っていくとの説明がありました。農地中間管理事業とされる農地を貸したい借りたいの「借りた」とする応募状況は、7月末までで27件（個人26、法人1）の応募があるとの説明でした。

## Check 議論の中身

- Q 出し手への単価はどうなるのか。
- A 町が調整し話し合いになります。
- Q 担い手と言われる認定農業者の年代はどのようになっているのか。
- A 30代から70代までが79人、平均年齢は60歳位です。
- ・ 若手の育成も急務ではないかとの指摘もありました。

## 26年度町における少子化・定住促進対策は

### 「町単独事業」

・ 新婚世帯家賃支援事業補助金  
24年度から現在まで受付済み16世帯（各年度5～6世帯）月1万円、今年度で終了となるため事業効果を検証するアンケートを実施予定。

### ・ 空き家情報バンク

土地の登録のみで8件、情報利用者9世帯、これまでに建物3件、土地1件の成立があった。

### ・ 中学生向け「結婚・妊娠・出産・子育て」講演会事業

将来の自分の家族を想像すること、これからのライフプランについて11～12月に実施、中学2年生対象、新潟中央短大講師を予定。

### ・ 新婚・子育て世帯向け個人住宅取得資金利子補給

新婚（50歳以下）子育て（中学3年以下）世帯に対し、町内及び加茂市内金融機関から資金を借り入れた場合、利子補給（上限1千万）



の1%を5年間で最大50万)、申請期間前(10~11月頃)再度周知する。

・少子化・定住促進対策事業のパンフレット作成

来年度以降の事業が決定してから作成。(3月頃)

・少子化・定住対策検討業務委託

転入者に対するアンケート、就学前の子供を持つ親に対する聞き取り調査、5~6月に職員が調査を実施した現在分析を実施中

「補助事業」(地域少子化対策強化交付金)

・結婚推進事業

独身男女を対象、結婚へ踏み出せない独身男女を対象に、未婚の子どもを持つ親に対してのセミナーを10月~2月にかけて実施、きずな・HP・チラシ・ポスター・地域情報誌に掲載・ラジオCMでPRする。企業、団体へも働きかける予定。

・出会いサポート事業

独身男女向けに出会いの機会を提供、11月に加茂市内で開催に向け準備中、きずな・HP・チラシ・地域情報誌に掲載しPRする。



▲結婚推進事業及び出会いサポート事業パンフレット

Check 議論の中心

Q 家賃支援事業での、親との同居等も補助できないのか。

A あくまでも家賃補助が目的です。

・今後の事業推進に期待する意味での調査となりました。

7月8~9日の豪雨対応状況

町では7月8日午後11時52分、大雨・洪水警報が発令され、降雨の状況は、8日22時~9日13時までの累計で、役場観測所96mm、下水道処理場観測121mm、保明観測所114mmで、人的、家屋、土砂崩れ等の被害は無かつたとの報告がありました。

・道路冠水

国道403号線 中店2カ所

羽生田3カ所

町道 通行止め 原ヶ崎2カ所、上吉田・坂田・川船河北・清水沢1区各1カ所

・河川 五社川 容量満水

・応急作業箇所

道路11カ所 河川・水路5カ所

今後の土砂災害に対する町の対応は

土砂災害ハザードマップは川船河、羽生田地区の關係する世帯には昨年12月に配布済みであり、今年12月中には、田上学区の關係する世帯に配布予定との説明がありました。

情報は3段階で周知、避難所は保健センターに

●注意レベル(今後災害発生が予想される状況)

・前ぶれ注意情報発令(県)

・緊急エリアメール、登録メール、関係区长電話連絡、今後の情報に注意するよう周知(川之下・上野・山田・中店・湯川・川船河・清水沢・羽生田・下吉田)

●警戒レベル(今後2時間以内に災害発生の危険性が予想される状況)

・土砂災害警戒情報発令(県・気象台)

・避難勧告の発令

・災害対策本部の設置

・避難所の開設(保健センター)

●危険レベル(災害発生の危険性が非常に高い状況)

・避難指示の発令

委員長 熊倉 正治

社会文教常任委員会  
所管事務調査

(仮称)生涯学習センターの建設計画があることから、町にふさわしい施設建設を行うため、3カ所の施設を視察しました。

新潟市・黒崎市民会館を視察



▲新潟市・黒崎市民会館

この会館は、黒崎地区住民の生涯学習活動や文化活動の充実を図る拠点施設として、新潟市と黒埼町との合併建設計画に基づいて設置された施設です。施設は、文化施設機能と公民館機能を合わせた複合施設です。構造は鉄筋コンクリート3階建、竣工は平成

18年3月、事業費は約22億円、一階は学習室、保育室、プレイルーム、ホール(300席)、2階は多目的ホール、講習室、和室等があり、3階は、美術工作室、調理実習室、音楽室がありました。

燕市の「国上」を視察



▲燕市「国上」

道の駅は、ほとんど国道沿いにありますが、この施設は数少ない県道沿いにある施設です。弥彦・岩室といった観光地を訪れる観光客の車やバスの交通量が多い所です。施設概要は、農水産省補助の国土健康の森公園、ふれあい交流センター、国上地区農村環境改善センターがあり、一般財源でのふれあいパークにて

まりの湯」等の施設がありません。登録は、平成14年8月、登録面積は2万8630㎡で施設管理は、指定管理者制を導入しています。

見附市の「パティオにいがた」を視察



▲見附市「パティオにいがた」

平成16年の水害により、刈谷田川の改修により発生した用地を、地域の防災及び交流の拠点として基盤整備が進められている中で、「道の駅」を整備し、交通情報の提供や休憩施設のほか、地元地域の振興施設を一体的に整備し、市内外から気楽に立ち寄れる観光交流施設を目的にした施設です。

平成25年8月に開設、主な

施設は、交流休憩施設、農産物等販売施設、農家レストラン、防災展示施設、ウッドデッキ、太陽光パネルが設備されており、建設費9億800万円で約50%が補助金です。施設の運営は、指定管理者です。参考までに、災害発生時販売されている全商品は、全て提供されます。

以上3カ所の視察でした。

視察終了後、庁舎に戻り保健福祉課から、平成25年4月に施行された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいた概要、方針、考え方等新型インフルエンザ等対策行動計画についての説明を受けました。

委員長 川崎 昭夫

加茂市・田上町

消防衛生組合

7月臨時会

期日 平成26年7月30日  
場所 加茂市役所

臨時会にて皆川忠志氏の失職にともなう監査委員の選任がありました。

当町の川崎昭夫議員が選出されました。

組合議員

池井 豊  
川崎 昭夫  
浅野 一志  
今井 幸代

三条地域水道用水

供給企業団

第2回定例会

期日 平成26年7月28日  
場所 企業団事務所

議案は、平成25年度企業団水道用水供給事業会計決算認定の1件でした。結果は特に質疑、討論はなく全会一致で認定されました。

決算の内容は、収益的収入および支出では、収入で11億2200万円、支出で12億1千万円、資本的収入及び支出では、収入で13億6200万円、支出で19億9300万円となっております。

収益的収入および支出において、損失が1億500万程（税抜き）出ておりますが、中央監視制御施設更新工事に伴い既存施設の固定資産の除却を行ったことが要因でした。

三条市では4月に市議会議員の選挙があり、8人の企業団議員が改選され、議席の指定や議長選挙が行われ、議長には三条市の武石栄二議員が選出されました。

組合議員

小池 真一郎  
川口 興志郎  
熊倉 正治

新潟県後期高齢者医療広域連合

期日 平成26年9月1日  
場所 新潟県自治会館

平成25年度一般会計歳入歳出決算認定は、歳入11億8818万3千円、歳出11億394万2千円で、差引8424万円1千円は平成26年度に繰り越して精算となります。

平成25年度特別会計歳入歳出決算認定は、歳入2528億8900万3千円、歳出2484億6289万円で差引44億2611万3千円でした。精算の負担金を除いて平成26年度に繰り越となります。

平成26年度特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出とも、2556億4919万3千円を追加するもので、これは平成25年度保険給付費の実績に基づく各種負担金等の精算に係る経費を補正するものです。

以上3議案は、採決の結果認定、可決されました。追加議案で、副広域連合長の選任があり承認されました。その後一般質問が1件行われました。

広域連合議員 川崎 昭夫

田上町議会フェイスブックのご案内

町民の皆さんにわかりやすい議会をめざして、町政・町議会の情報を迅速に発信していきます。町のホームページからも閲覧できるようになりました。ぜひ、アクセスしてください。

<http://www.facebook.com/tagamimachigikai>

※議会のフェイスブックページは、アカウント登録がなくても見ることができます。



議会からのお知らせ

議会会議録をホームページに掲載します

今まで、役場議会事務局又は公民館でしか閲覧ができなかった議会会議録を、ホームページに公開していきます。本会議及び委員会会議録を公開していく予定ですが、約3ヵ月後の公開となりますので、予めご了承願います。

議会を傍聴してみませんか？

次の定例会は12月8日(月)からの予定です。請願は12月1日(月)までに提出されたものを12月定例会で審議します。





# 田上町の元気人

## 羽生田総区「敬老会」 大勢の人生の大先輩 パワーに圧倒

9月21日(日)天気は祝賀会日和で、敬老会に参加する元気人会員にいきましました。

参加者は99名(対象者は299名)



▲アトラクションで盛り上がる

## 結婚50年過ぎてても夫婦仲 良く元気なお二人

羽生田一区 高井 庄吉さん

(妻) 富 さん

元気の秘訣は、「畑で今も仕事をすること」です。



▲ツーショットをお願いしましたが・・・玄関での思いが叶った1枚です。



## どじょう・おひねり



▲敬老会、参加者のパフォーマンス・・・何か持った「あっ 入れた」

羽生田二区 宮口 喜代志さん  
元気の秘訣は、毎朝飲むコーヒート、「から元気」と答えています。

「から元気」は、いつも元気と思ふ心が本当の元気を作っているのかなと思いました。

今号から議会だよりのレイアウトを大幅に変更しました。  
皆様によりわかりやすい議会だよりの作成を目指しています。  
町民の皆さんのご意見をお待ちしております。

## 編集後記

今夏は暑い日も長続きせず、秋の訪れも早かったように感じましたが皆さんはいかがでしたでしょうか。私にしては珍しく多くの時間を護摩堂山で過ごしました。4年前から、早朝ハイキングに参加し、昨年からは家内と2人で参加しています。

今年は、カメラと交換レンズをリュックにいれ、ペットボトルを手に、平日一人で登ることもあります。「おはようございます」、「こんにちは」と知らない人とも挨拶を交わしています。

9月下旬になり、頂上の展望台では彼岸花が咲き、トンボが飛びまわるなかで、弥彦山に沈む太陽を撮影しました。今回の表紙は9月26日の夕焼けです。このような光景を田上の地では見ることができません。

浅野記

- 委員長 今井 幸代
- 副委員長 有川りえ子
- 委員 川崎 昭夫
- 委員 熊倉 正治
- 委員 浅野 一志
- 委員 椿 一春